

手稲溪仁会病院

内科専門研修プログラム

2026年度 専攻医募集

 総合内科から各専門内科まで、幅広い進路を目指す専攻医を募集しています。

 660床の急性期病院

 ドクターヘリで
北海道各地から
患者が搬送されます

Sapporo / Hokkaido

JR手稲駅 徒歩1分
札幌・小樽・手稲山に近い



内科統括部所属

専攻医は各診療科ではなく
「内科統括部」に所属。
希望診療科をローテーション。



病院全体で育てる

ローテーション・J-OSLER・
研究・進路相談を
内科統括部がサポート。



英語・留学

海外大学に1か月短期留学、
UTMB医師による
医学英語トレーニング。



全国で研修可能

連携病院は全国にあり、
日本全国で研修できます。



毎年 **5** 人の内科専攻医



志望科は多彩

循環器・呼吸器・消化器・腎臓・糖尿病内分泌・
血液・神経・総合内科・感染症・集中治療 など



将来の専門性に
つながる選択ローテ

見学歓迎 | 旅費補助あり | WEB面談可
病院見学・WEB面談、どちらも大歓迎!



X DM

気軽にXで
ご連絡も歓迎です

<https://x.com/X3fcPvfujenca6c>



病院見学のお申し込みはこちらから ▶



内科統括部
ホームページ

[https://www.keijinkai.com/teine/training/
late_training_program/45-5/](https://www.keijinkai.com/teine/training/late_training_program/45-5/)

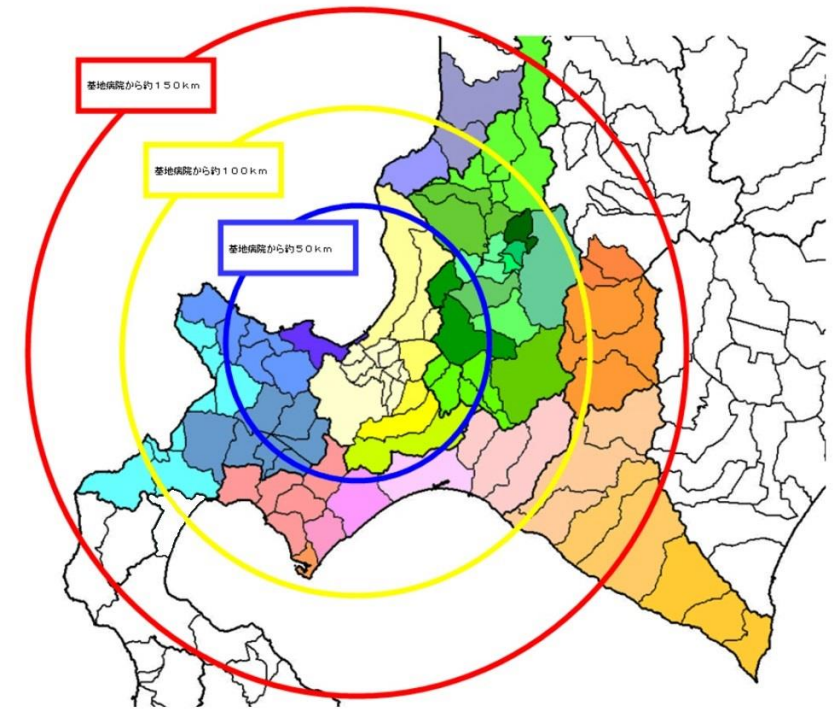


公式問い合わせ

専門研修委員会事務局 (担当 小林・北川)

E-Mail : tkh-senmoni@keijinkai.or.jp

手稲溪仁会病院



札幌北西部で高度医療
を担う地域中核病院

手稲溪仁会病院 (TKH) の環境

北海道札幌市手稲区

札幌駅から：電車で9-16分

新千歳空港から：約1時間

- ・手稲駅北口から病院：徒歩3分
- ・近くにイオン(24H営業)や区役所あり
- ・南口には飲食店街もあり
- ・高速道路の手稲ICまで約5分



手稻溪仁会病院 (TKH) の特徴

救急指定	病床数	医師数
 3次救急	 670床	 289名

平均の患者				
外来患者	入院患者	救急車 搬送患者	救急外来患者	心肺停止状態 搬送患者
1,161名/日	542名/日	16名/日	32名/日	238名/年

【2025年版】医師が選ぶ「働きたい病院」TOP200発表！

開業経営 2025年12月15日 (月) Doctors LIFESTYLE編集部



2025年度「働きたい病院」TOP200
北の大地の雄「手稲溪仁会病院」が初の全国1位に！

今年の1位となったのは、毎年上位にランクインを果たし、根強い人気を見せた北海道の手稲溪仁会病院でした。

1位：手稲溪仁会病院（北海道）／179ポイント

2023年3位、2024年5位と、常にTOP5圏内を維持してきた同院が、満を持して1位を獲得しました。ドクターヘリを有する高度救命救急センターとしての実績はもちろん、若手医師への教育体制の手厚さ、そして働き方改革への積極的な取り組みが、全国の医師から「一度は働いてみたい」という憧れと信頼を集めた結果ではないでしょうか。

2025年 全国ランキング TOP200

全体 順位	病院名	ポイント数	第1希望	第2希望	第3希望	エリア	エリア 内順位
1	(北海道)手稲溪仁会病院	179	39	15	17	北海道東北	1
2	(福岡県)九州医療センター	173	31	23	11	九州	1
3	(北海道)北海道大学病院	160	30	18	16	北海道東北	2
4	(愛知県)トヨタ記念病院	157	31	15	19	北陸中部	1
5	(北海道)市立札幌病院	156	17	32	9	北海道東北	3
6	(岡山県)倉敷中央病院	153	36	13	6	中国四国	1
7	(京都府)京都大学医学部附属病院	144	25	18	15	近畿	1
8	(東京都)虎の門病院	140	30	12	14	関東	1
9	(愛知県)愛知医療センター名古屋第二病院	136	24	16	16	北陸中部	2



WORLD'S BEST HOSPITALS 2026



20	Japanese Red Cross Musashino Hospital	73.45%	Musashino
21	Teine Keijinkai Hospital	73.23%	Sapporo
22	Yokohama Municipal Citizen's Hospital	72.92%	Yokohama
23	Saitama Medical University International Medical Center	72.77%	Hidaka
24	Kyorin University Hospital	72.53%	Mitaka
25	Okayama University Hospital	72.49%	Okayama

なりたい内科医の姿を目指して、
大学病院ではなく、市中病院だからできることを

当院の内科専門研修プログラムは、こんな人におすすめ

専門特化型



市中病院で、
内科全般も学びながら
専門をより深めたい

進路探索型



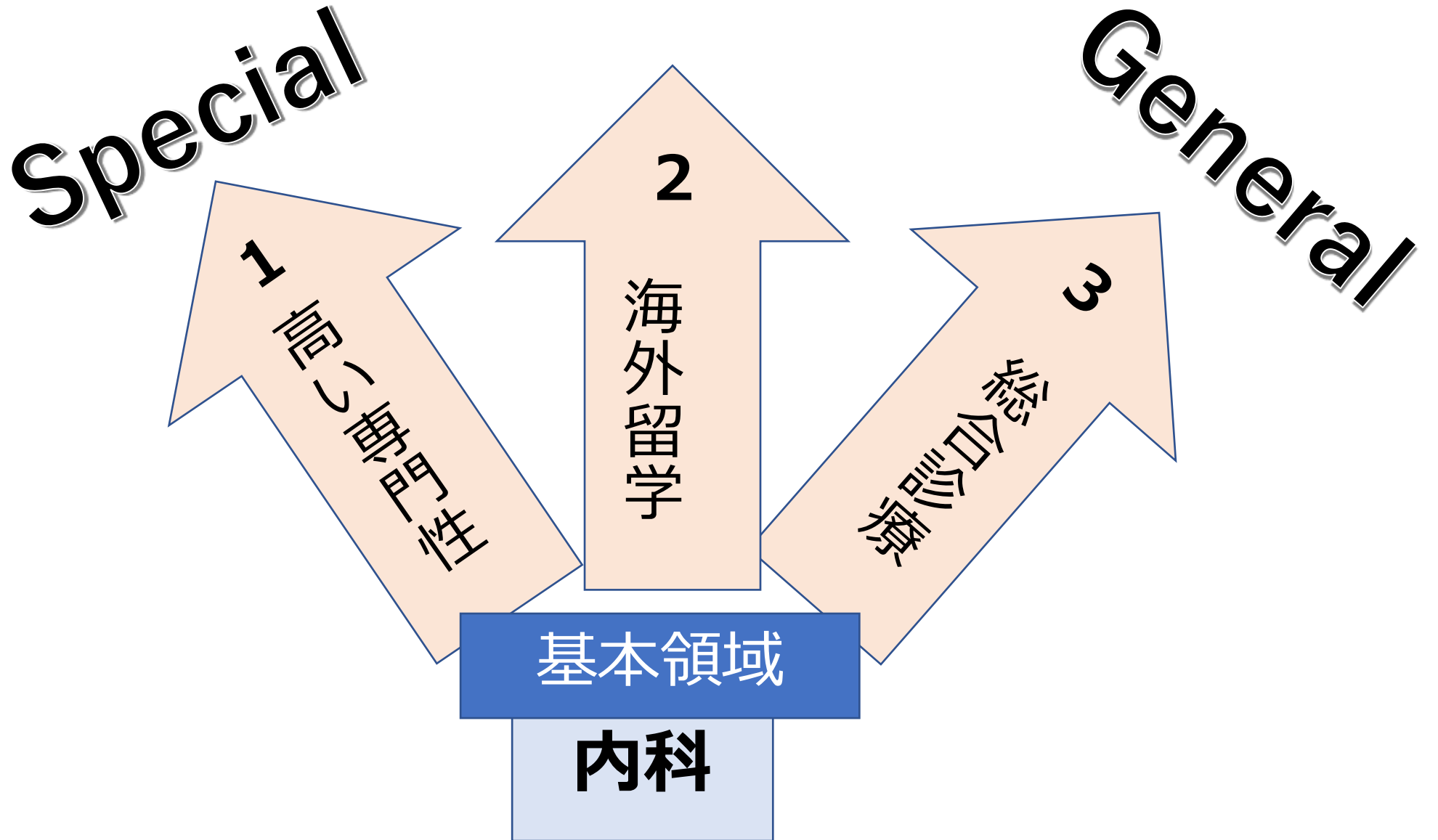
内科志望。
でも専門はまだ迷っている

総合内科型



幅広い内科の土台を、
しっかり身に付けたい

当院の内科専攻医プログラムの特徴



当院の内科専攻医プログラムの特徴

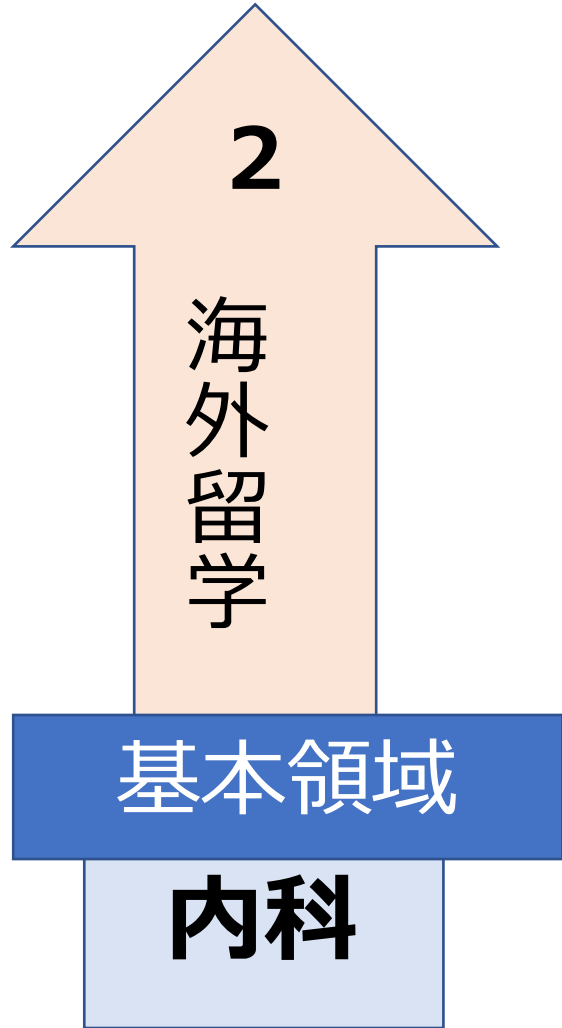
Special

1 高い専門性

消化器、循環器、呼吸器、血液、腎臓、
膠原病・リウマチ、感染症、老年、腫瘍
救急・集中治療

基本領域

内科



アメリカへの**臨床留学**を
サポートする体制がある

J-OSLERの順調な達成者は、

テキサス大学 (UTBM)

ケース・ウェスタン・リザーブ大学 (CWRU)

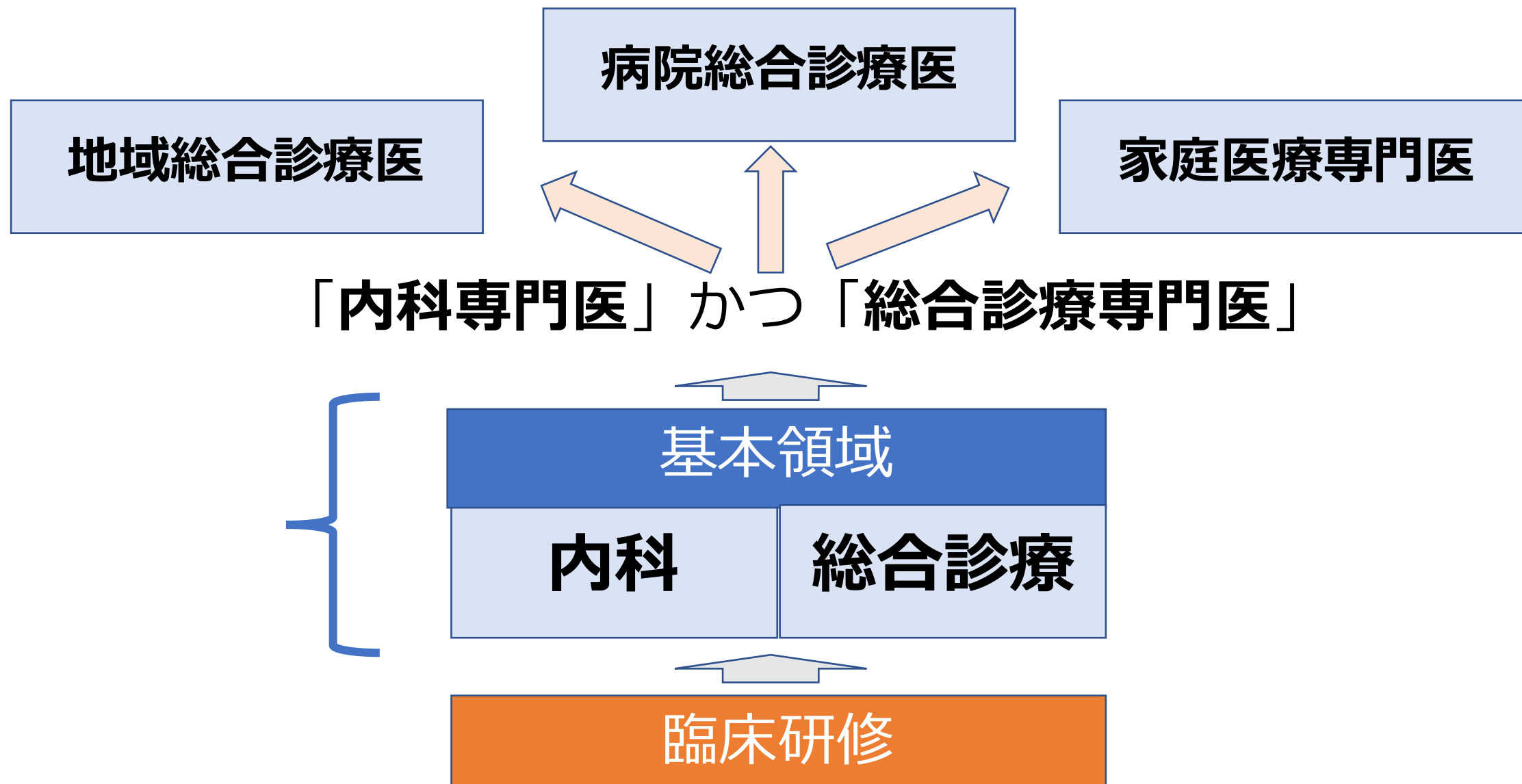
バージニア大学 (家庭医療) (UVA)

に短期留学可能

総合診療

内科

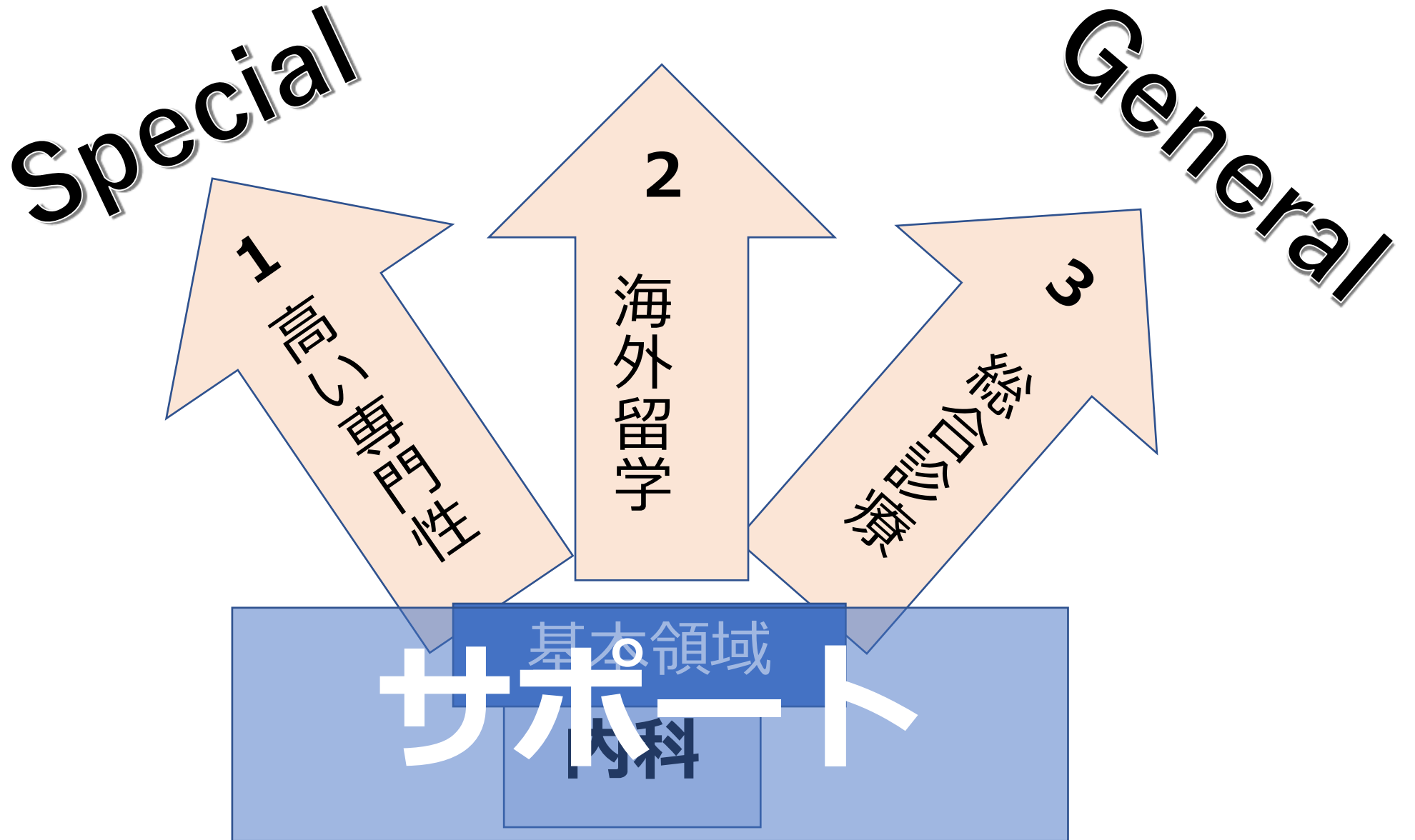
当院では、**基本領域のダブルボード**が可能



病院総合診療医

2025年度より、日本版Hospitalist育成にむけ、
札幌医大・滋賀医大、シカゴ大学と連携を強化

当院の内科専攻医プログラムの特徴



内科プログラムは、**内科専攻医統括部** がサポートします

内科専攻医統括部

血液内科

呼吸器内科

腫瘍内科

循環器内科

消化器内科

腎臓内科

総合内科

脳血管内科

感染症内科

内科プログラムのサポート体制

ACGME-I

(国際的な内科医育成プログラムの第三者機関)

- J-OSLERチーム

J-OSLERクリアのための
サポート体制

- 臨床研究対策チーム

学会発表・論文作成、
臨床研究をサポート

ある専攻医の週間スケジュール例

	月	火	水	木	金
7:30-8:30					モーニングレポート
8:30-12:00	ローテ業務				
12:00-13:00				内科カンファレンス	
13:00-17:20	ローテ業務	ローテ業務	ローテ業務	ローテ業務	内科外来
			16:30-J-OSLER会議 (1回/月)		
17:20-22:00		18:00-抄読会	ナイトフロート 研修医指導 (2回/月)	17:30-臨床研究勉強会 (1回/月)	

手稻溪仁会病院内科専門研修プログラム 連携施設

北海道脳神経内科病院

市立札幌病院

札幌西円山病院

手稻家庭医療クリニック

余市協会病院

富良野協会病院

小樽市立病院

Sapporo

帯広厚生病院

伊達赤十字病院

王子総合病院

沖縄県立中部病院

国立循環器病 研究センター

大阪北野病院

藤田医科大学病院

水戸済生会総合病院

聖路加国際病院

東京労災病院

三井記念病院

東京北医療センター

亀田総合病院

長崎医療センター

今村総合病院

宮崎市郡医師会病院

■ 札幌市内

3年間のプログラムの例

専攻医 1年目	総合 内科	総合 内科	総合 内科	消化 器科	消化 器科	消化 器科	放射 線科	放射 線科	感染 症科	感染 症科	病理	病理
専攻医 2年目	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携
専攻医 3年目	集中 治療	集中 治療	集中 治療	消化 器科	消化 器科	消化 器科	腫瘍 内科	腫瘍 内科	腫瘍 内科	テキサス 大学	消化 器科	消化 器科

当院の内科専攻医の内訳

2024年度 7名(当院初期研修卒 3人 他院卒 4人)

志望科：循環器、消化器、腎臓内科、総合内科、内分泌、腫瘍内科

2025年度 5名（当院初期研修卒 3人 他院卒 2人）

志望科：循環器、感染症科、総合内科

2026年度 5名（当院初期研修卒 4人 他院卒 1人）

志望科：循環器、消化器、腫瘍内科、集中治療科、総合内科

教育を診療科任せにしないために―「内科統括部」立ち上げまで―

大学医局以外の選択肢をどう設計するか？感染症科医が挑んだ組織改革

オピニオン 2026年5月17日 (日)配信 菊池航紀（手稲溪仁会病院内科専攻医統括部プログラムディレクター）



菊池航紀

手稲溪仁会病院感染症科部長 兼 内科専攻医統括部プログラムディレクター

2012年北海道大学医学部卒業後、札幌東徳洲会病院で初期研修。堺市立総合医療センター、北野病院など大阪府内の市中病院で内科・総合内科診療に従事した後、亀田総合病院感染症科で研鑽。2021年に手稲溪仁会病院で感染症科を立ち上げ、2024年より同科部長兼内科専門研修プログラムディレクター。現在は感染症診療、抗菌薬適正使用、院内感染対策に加え、地域に根ざした若手医師教育に取り組んでいる。感染症専門医、総合内科専門医、ICD。

当院での内科統括部立ち上げの経緯記事(m3)





手稲溪仁会病院

内科専攻医プログラム

当院は、

あなたの「なりたい」内科医への道を、アシストします。